

モデリスタセレクション

ラゲージLED取付要領書

品番：MSE65-28001

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、ラゲージLEDの取付要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。最新の適合情報はモデリスタホームページをご覧ください。

<https://www.modellista.co.jp>

取り付け上の注意事項

- 重要** ■本製品は適合車種(12V仕様)以外の車には取り付けできません。
- 本製品は用途以外の目的で使用しないでください。
- 取り付け前に内装部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け作業中の車はエンジンを停止し、エンジンキーを必ず取りはずしておいてください。
- 重要** ■取り付け作業の前に必ずバッテリーの(-)端子をはずしてください。また、(-)端子を(+)端子と接触しないようにしてください。
- 本製品の取り付けには内装部品を取りはずし・取り付け作業を行います。
 - ・取りはずし作業で内装部品に傷つかないように注意してください。
 - ・取りはずしに際して紛失や混乱が無いように整理してください。
 - ・復元の際に各部品の取り付けを間違えないように配慮してください。
- 構成部品及び部品点数が取付要領書通りになっているか、不良部品の混在が無いか確認してください。
- 重要** ■車両部品の脱着には、必ず車両修理書を参照してください。また、本取付要領書で指示している部品以外は取りはずさないでください。
- 重要** ■コードの配線には十分注意してください。誤った配線をしますと故障の原因になります。必ず取付要領書に従って配線を行ってください。
- 重要** ■コードを引っ張ったり、挟んだりしないでください。発熱や断線の原因になります。
- 重要** ■プロテクトシート・クッションの取り付け面に油脂分や汚れが付いていますと、脱落や剥がれの原因になりますので脱脂剤等で十分に拭き取り、使用される際は火気を近づけないよう充分注意してください。
- ▲上記注意事項の未読、注意不足による損害の責任は一切負いかねます。

保証について

本商品は、1年または20,000kmの保証を実施します。(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)
 ※保証の詳細はMODELLISTAカタログサイト(<https://www.modellista.co.jp>)の「保証について」をご覧ください。

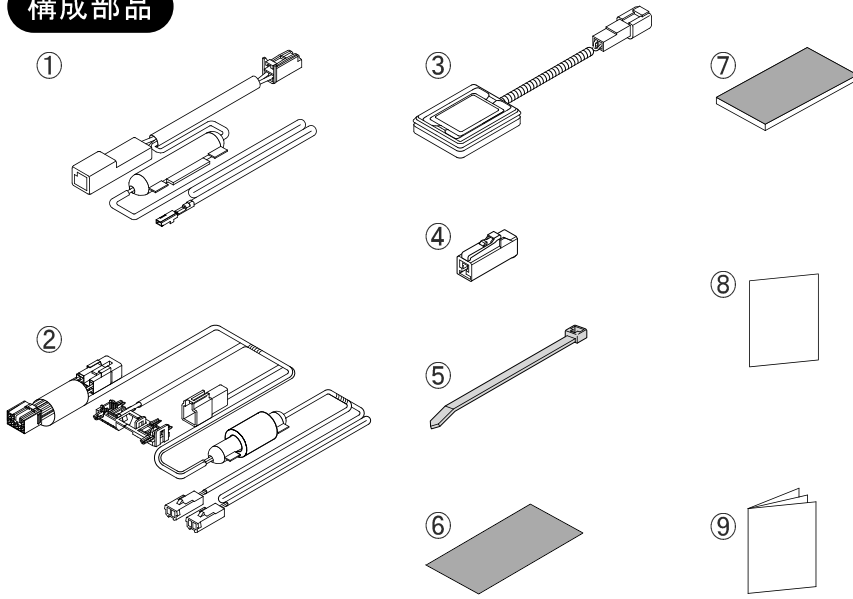
取り付け完了後の点検・注意事項

- バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
 ※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。
- 各システムの設定・確認を行ってください。
 (車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定/作業」を参照)
- バックドア開閉時にラゲージLEDが正しく点灯/消灯しているかを点検してください。
- LEDの明るさ・色には多少のばらつきがあります。あらかじめご了承ください。
- 経年変化により、レンズ部が多少変色する場合があります。あらかじめご了承ください。

⚠注意 …注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどの恐れがあることを記載しております。

🔊アドバイス …スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しております。

構成部品

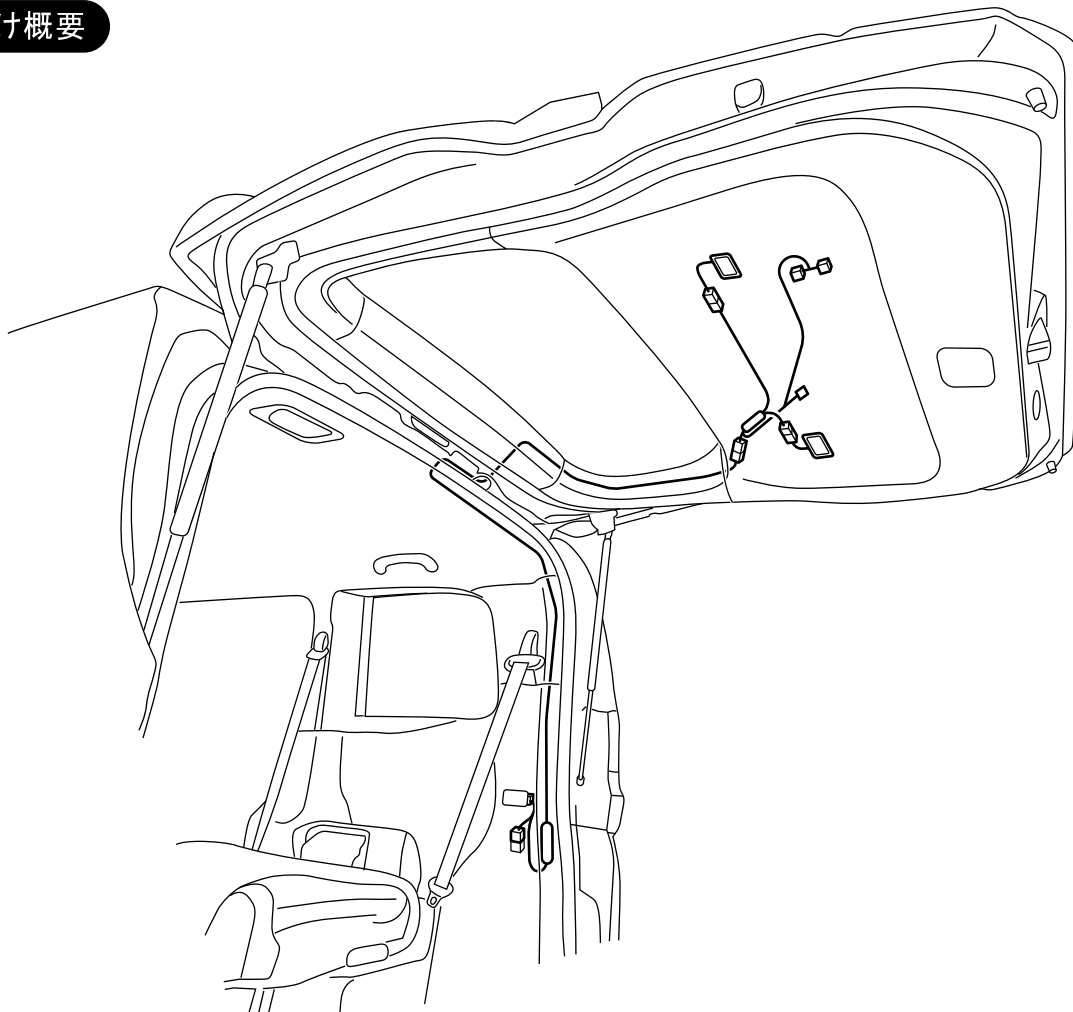


No.	品名	個数
①	ハーネスNo.1	1
②	ハーネスNo.2	1
③	ランプユニット	2
④	ハウジング	1
⑤	結束バンド	19
⑥	プロテクトシート	2
⑦	クッション	5
⑧	型紙	1
⑨	取付要領書	1

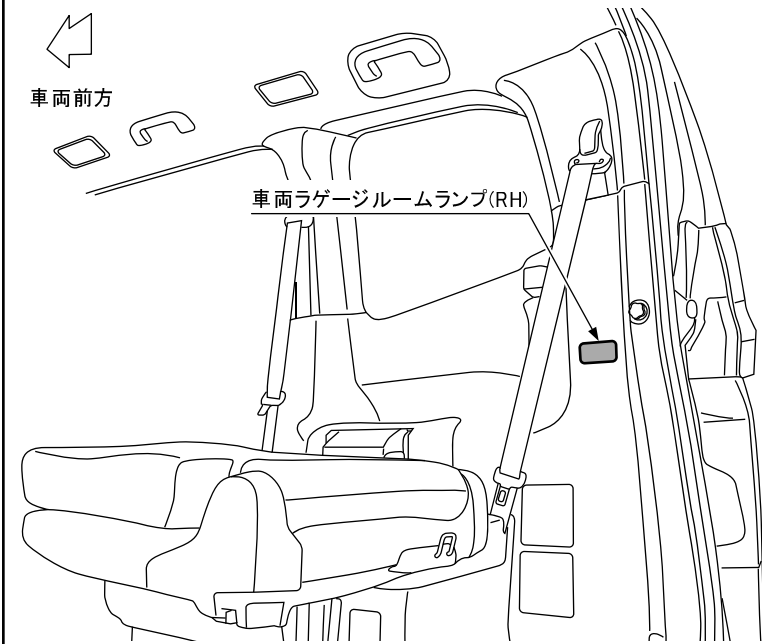
取り付けに必要な工具等

一般工具、ハサミ、ニッパー、超音波カッター、ポンチ、クリップリムーバー、モールディングリムーバー、トルクレンチ、マスキングテープ、ビニールテープ、ウエス、メジャー、ヤスリ、保護メガネ、針金、脱脂剤等

取り付け概要



取り付け手順

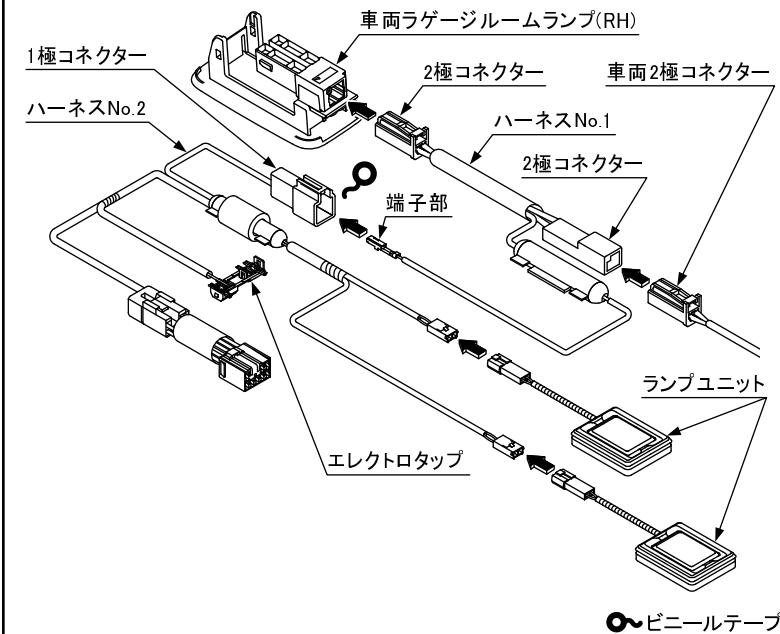


●点灯確認

Ⓜアドバイス

各車両部品の脱着は、車両修理書を参照してください。

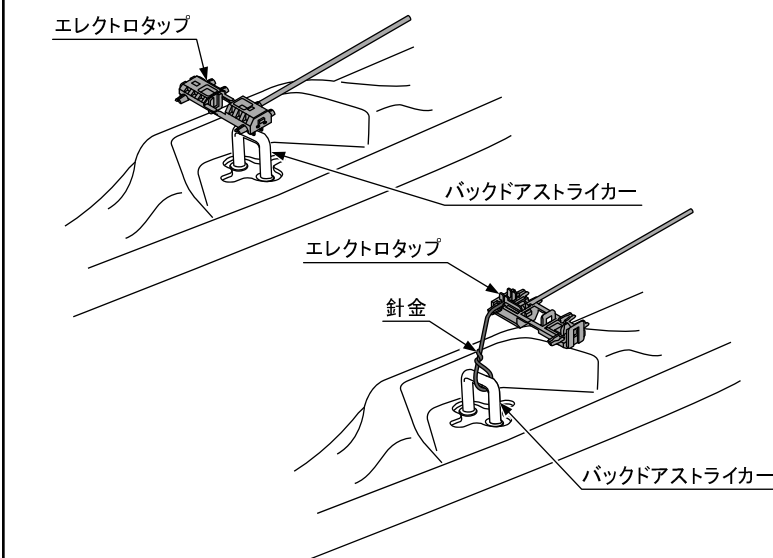
1. バッテリーの(－)端子をはずす。
2. 車両ラゲージルームランプ(RH)を取りはずす。



⚠注意

- ・必ず製品を安定した場所に置いて作業を行ってください。
- ・ランプユニットの表面に傷を付けないように注意してください。

3. 車両ラゲージルームランプ(RH)と車両ラゲージルームランプに接続されていた車両2極コネクタに、ハーネスNo.1の2極コネクタを割り込み接続する。
4. ハーネスNo.1の端子部とハーネスNo.2の1極コネクタを接続し、ビニールテープで絶縁する。
5. ハーネスNo.2とランプユニットを接続する。



6. バッテリーの(－)端子を取り付け、運転席のドアを一度開閉する。
7. エレクトロタップのターミナル部を左図のようにバックドアストライカーに接触させ、正常に点灯することを確認する。

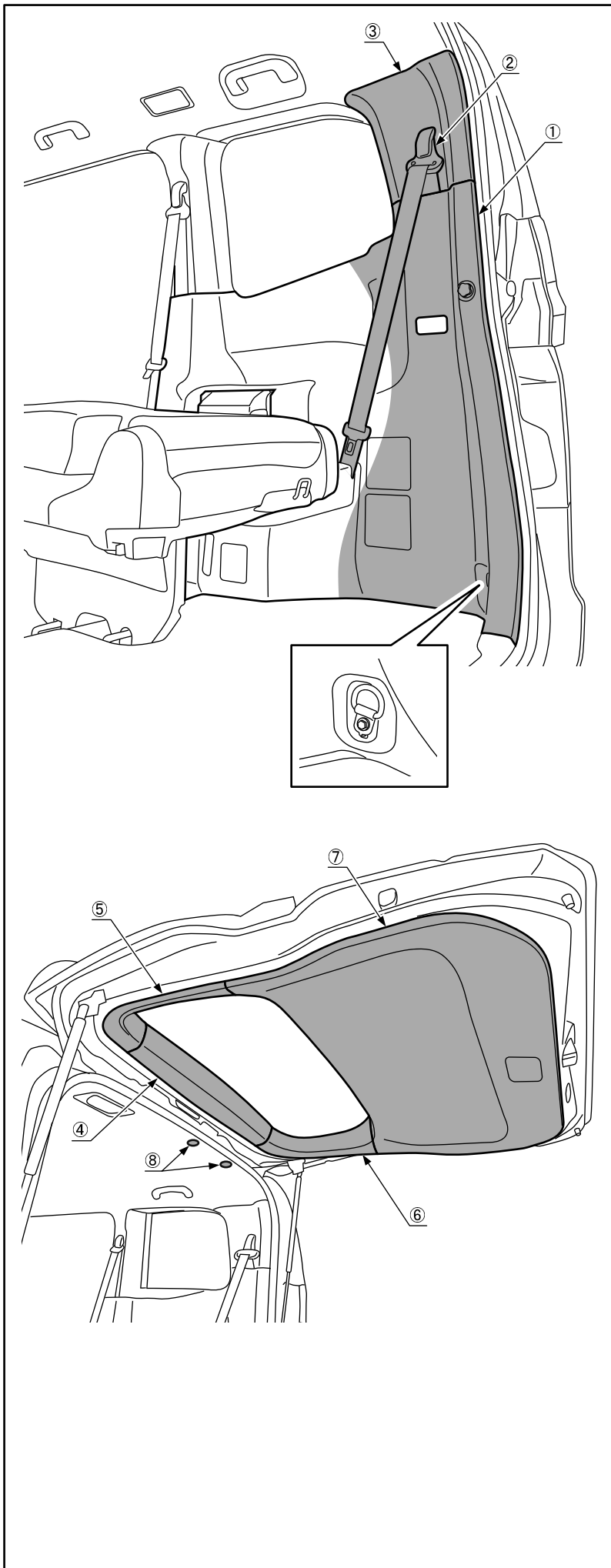
Ⓜアドバイス

ターミナルがバックドアストライカーに接触しない場合は、針金等の導線を使用して確認してください。

8. バッテリーの(－)端子を取りはずし、各コネクタをはずし、製品を一度取りはずす。

Ⓜアドバイス

ハーネスNo.1と手順3.にて接続した車両2極コネクタは接続したままにします。



●製品の取り付け

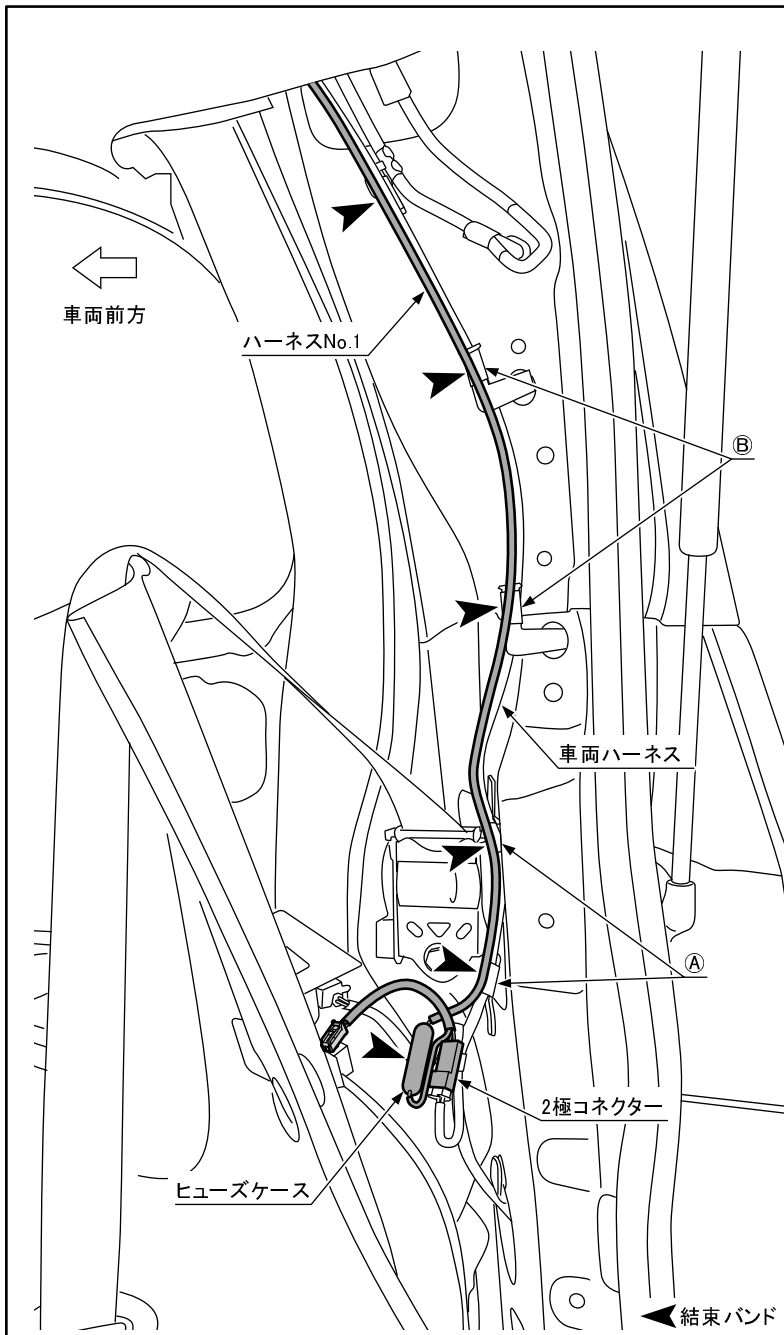
※アドバイス

- ・各車両部品の脱着は車両修理書を参照してください。
- ・左図①の車両部品は完全に取りはずさず、半開きの状態で作業を行ってください。

1. 左図①～⑧の車両部品を取りはずさず。

⚠注意

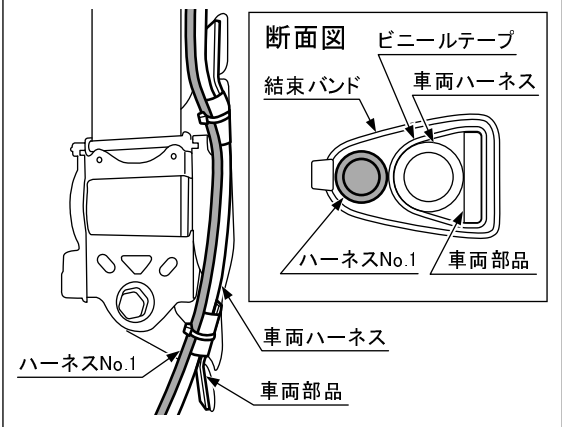
シートベルト固定ボルト復元の際、 $T=42.0N \cdot m$ にて締め付けてください。



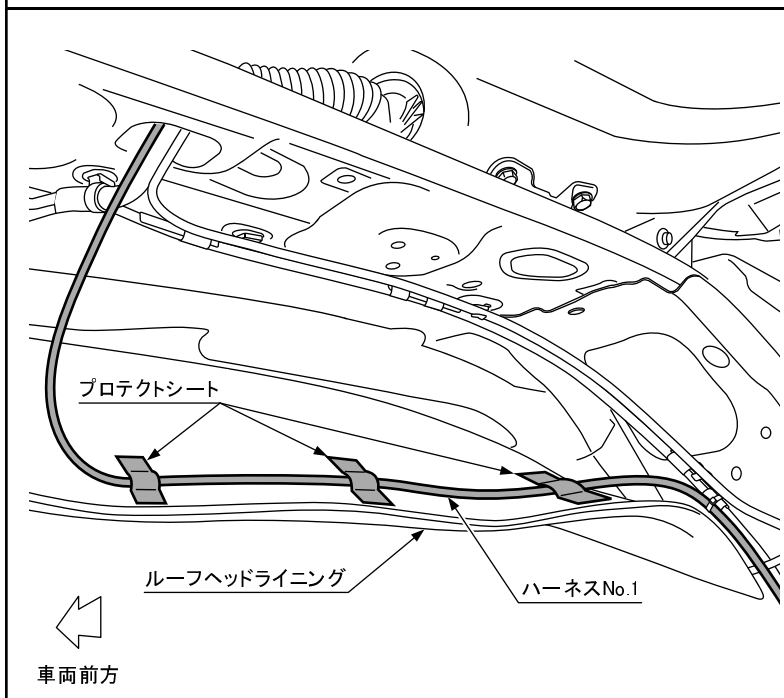
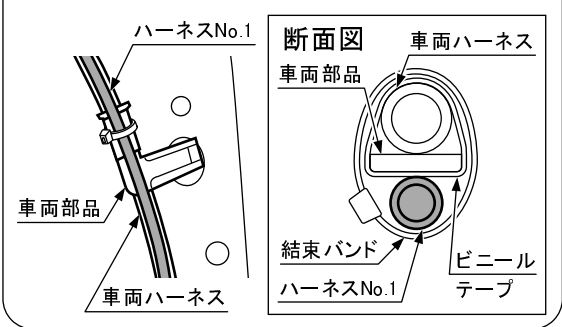
2. ハーネスNo.1、接続した2極コネクタ及びヒューズケース(管ヒューズ:1A)を左図のように配線し、結束バンド(6ヶ所)で車両ハーネスに固定する。

⚠ 注意
ウオッシャーホースには結束バンド固定しないでください。

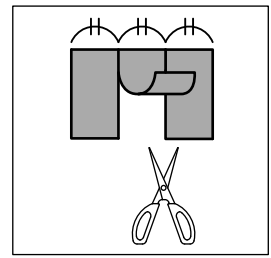
Ⓜ アドバイス
・左図①部の固定は、下図を参照してください。



・左図②部の固定は、下図を参照してください。

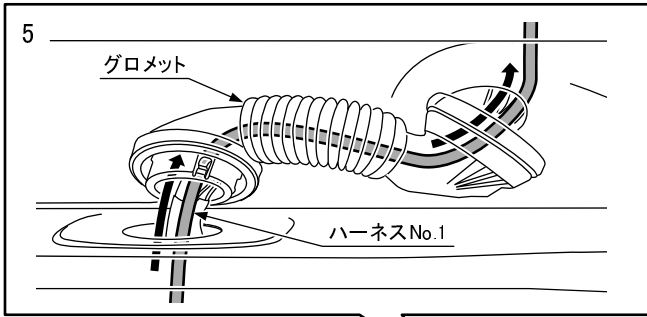


3. プロテクトシート(2枚中1枚)を下図のように3分の1の大きさにカットする。



4. ハーネスNo.1を左図のように配線し、3分の1にカットしたプロテクトシート(3ヶ所)でルーフヘッドライニングに等間隔で固定する。

⚠ 注意
配線する際、ルーフヘッドライニングを無理にめくらないようにしてください。



5. グロメットをはずし、ハーネスNo.1をグロメットに通し、バックドア内へ配線する。

⚠注意

- ・配線する際、ルーフヘッドライニングを無理にめくらないようにしてください。
- ・ハーネスNo.1をグロメットに通す際、無理に配線を引っ張らないようにしてください。

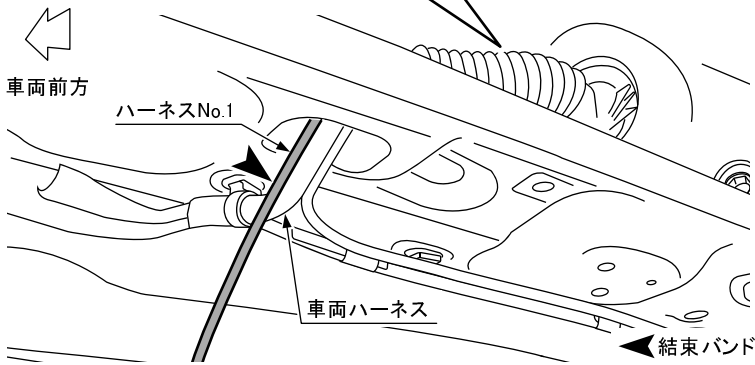
🔧アドバイス

ハーネスNo.1をグロメットに通しづらい場合は、配線通し等を使用してください。

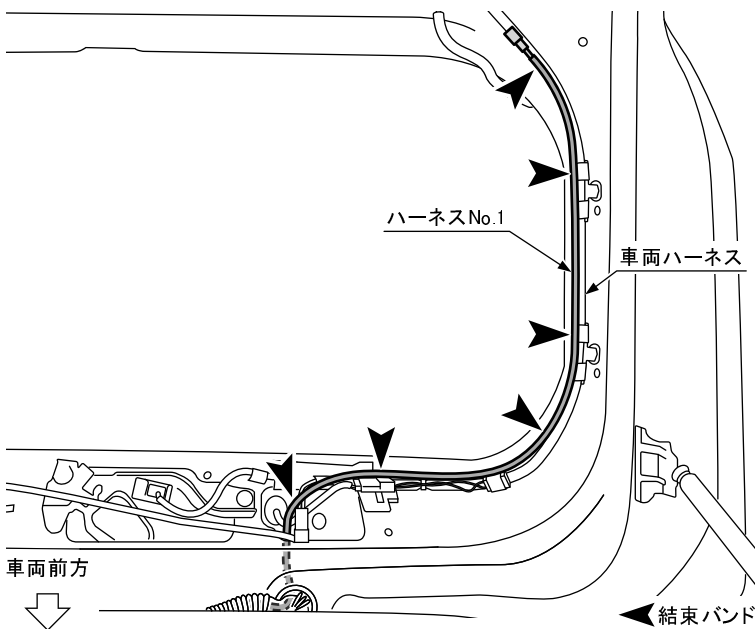
6. グロメットを復元する。
7. ハーネスNo.1を左図のように配線し、結束バンド(1ヶ所)で車両ハーネスに固定する。

⚠注意

ウォッシャーホースには結束バンド固定しないでください。



8. ハーネスNo.1を左図のように配線し、結束バンド(6ヶ所)で車両ハーネスに固定する。

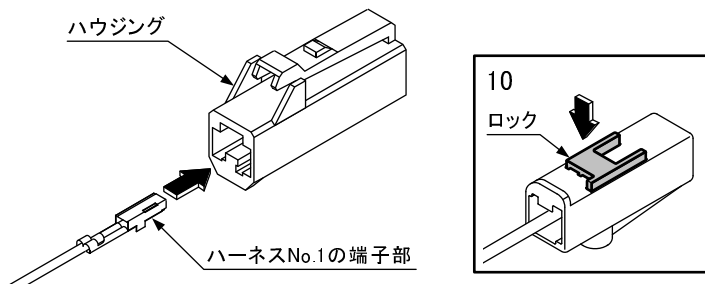


9. ハーネスNo.1の端子部をハウジングに挿入する。

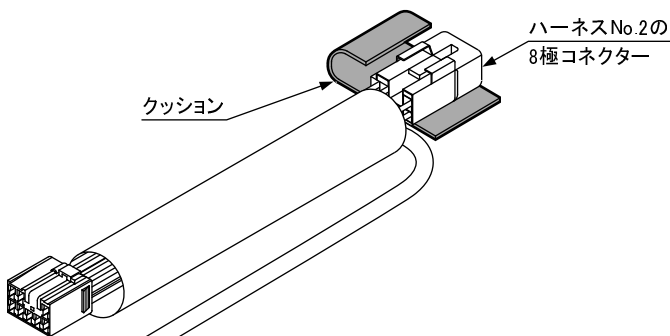
🔧アドバイス

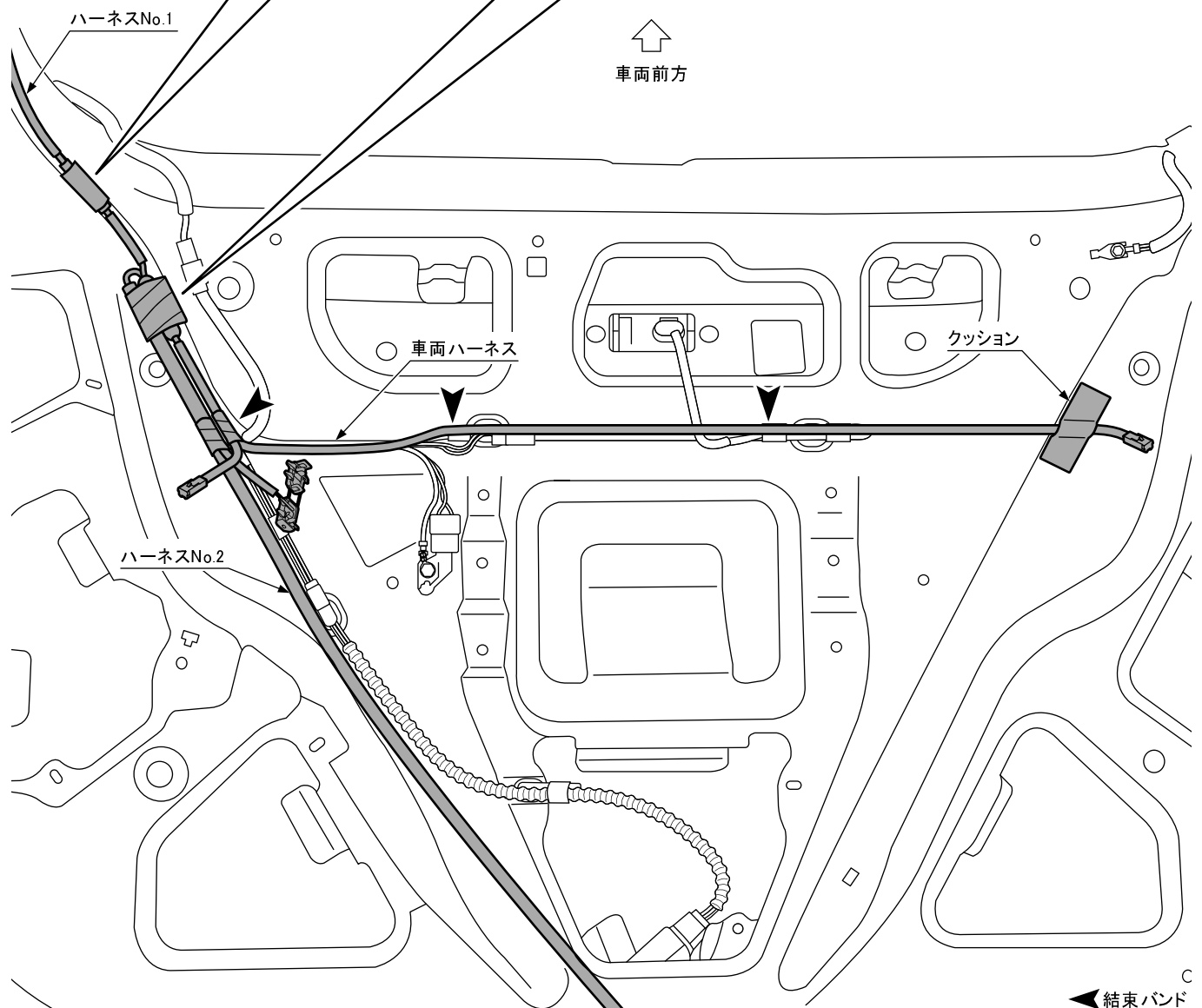
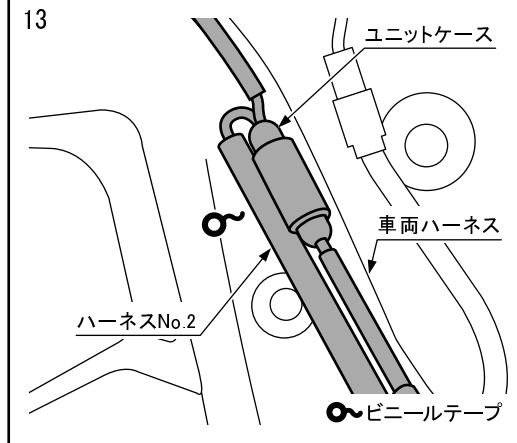
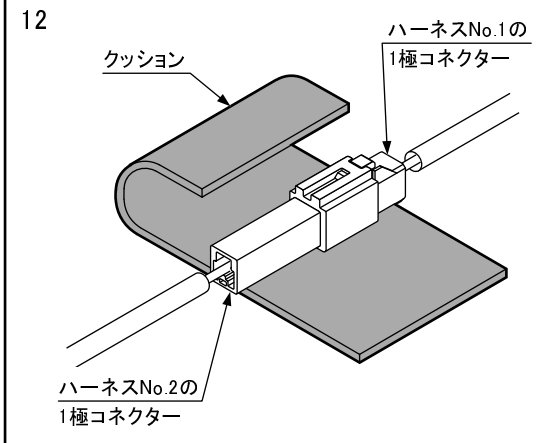
挿入する際、「カチッ」と節度感があることを確認してください。

10. ハウジングをロックする。



11. ハーネスNo.2の左図8極コネクタにクッションを巻く。



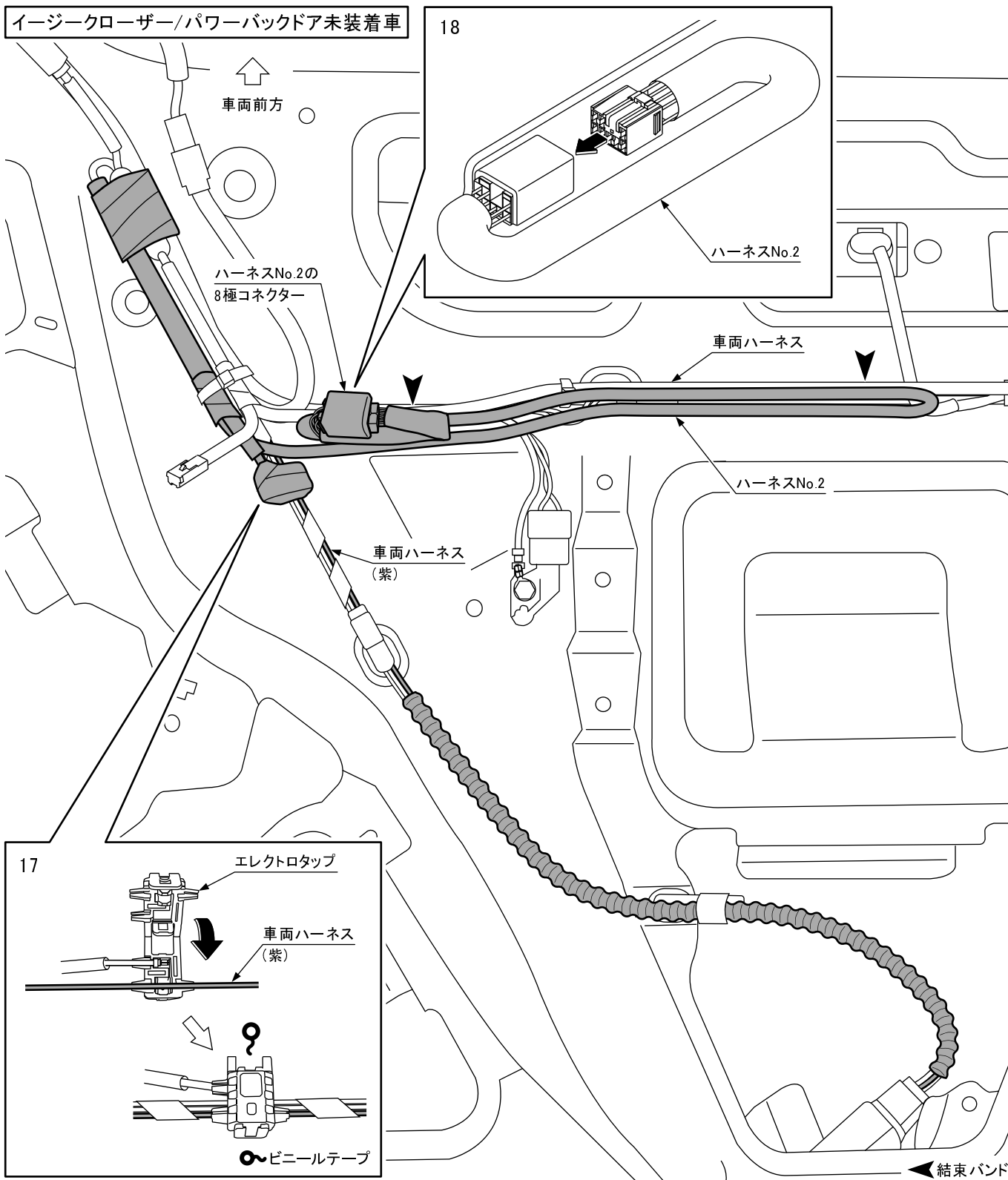


🔊アドバイス

上図はイージークローザー/パワーバックドア未装着車を示していますが、装着車も同様に作業を行ってください。

12. ハーネスNo.1の1極コネクタとハーネスNo.2の1極コネクタを接続し、クッションを巻く。
13. ハーネスNo.2のユニットケースを上図のように配線し、ビニールテープで車両ハーネスに固定する。
14. ハーネスNo.2を上図のように配線し、結束バンド(3ヶ所)で車両ハーネスに固定する。
15. ハーネスNo.2を上図のように配線し、クッション(1ヶ所)でバックドアパネルに固定する。

手順16.~19.は車両の仕様により作業内容が異なります。車両の仕様を確認し、8ページ又は9ページの作業を行ってください。



16. 車両ハーネス(紫)の位置を確認する。

17. ハーネスNo.2のエレクトロタップを手順16.にて確認した車両ハーネス(紫)に接続し、ビニールテープで車両ハーネスに固定する。

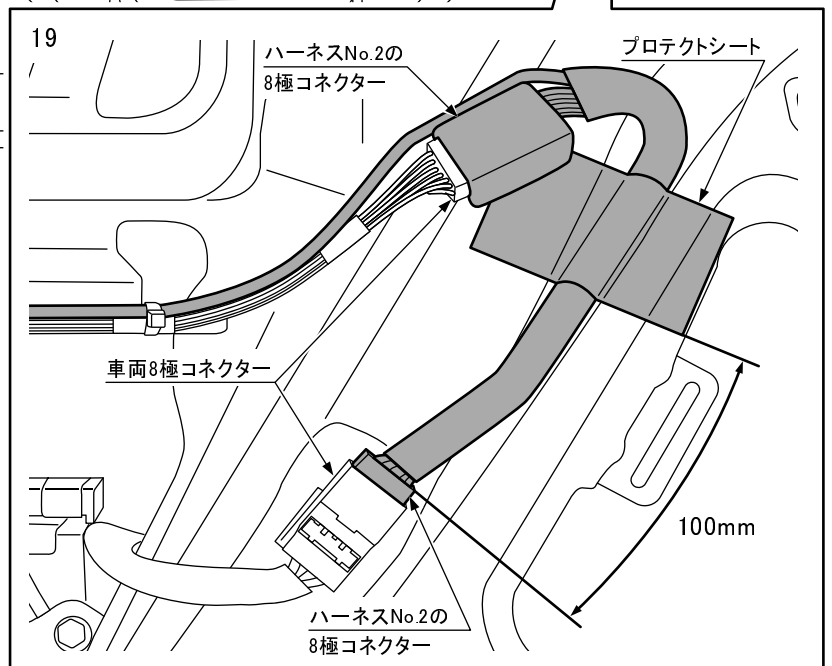
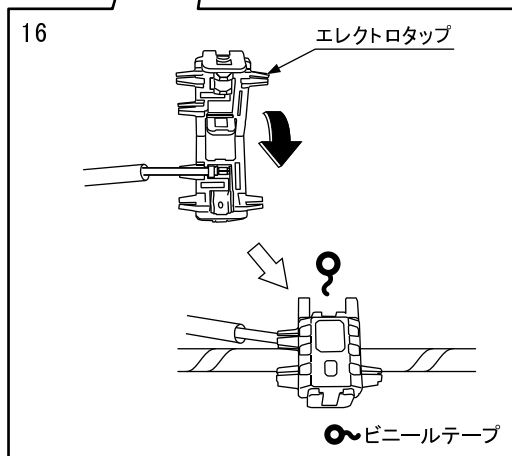
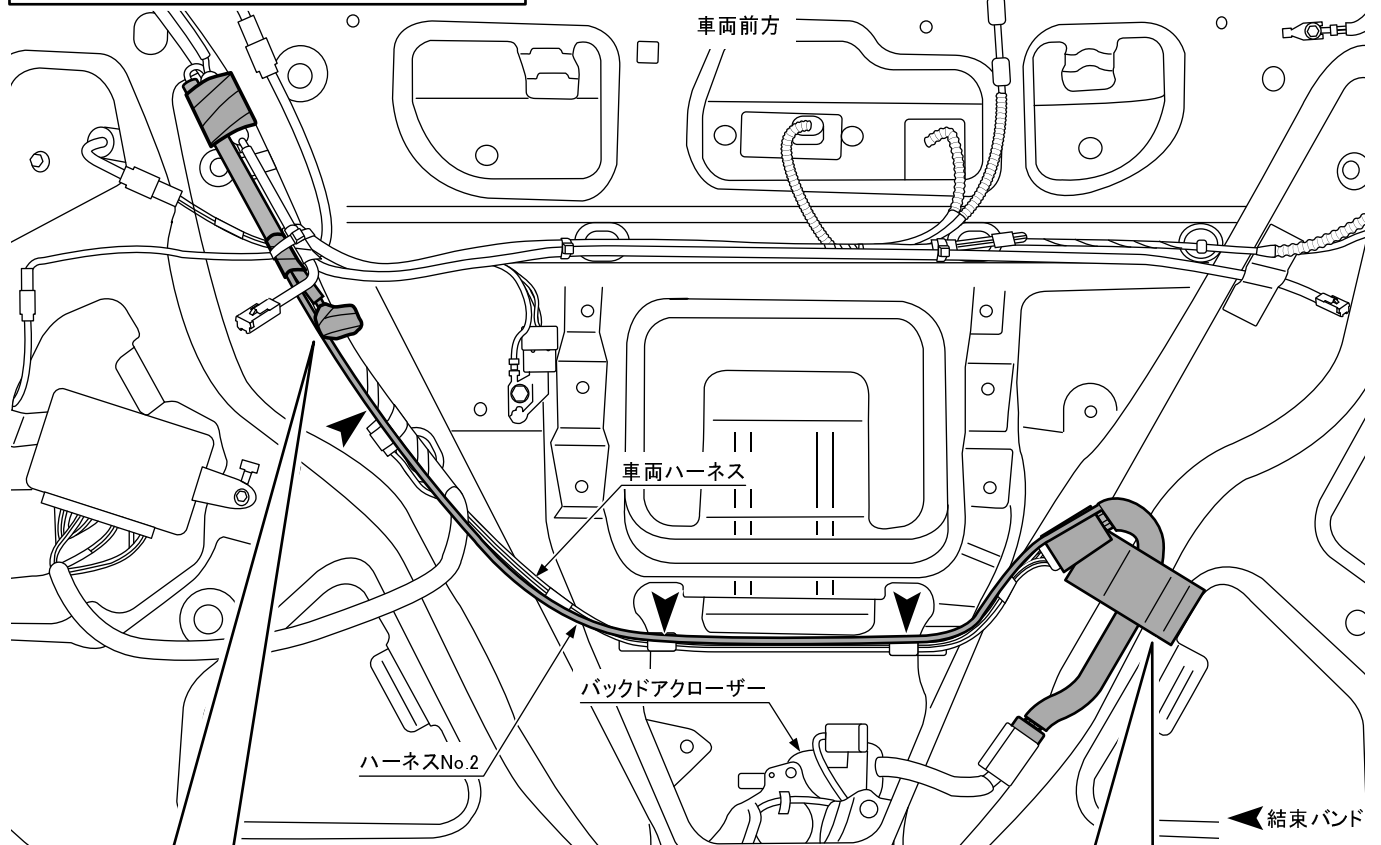
⚠️アドバイス

必ず上図の接続位置を確認してから作業を行ってください。

18. ハーネスNo.2の8極コネクタ同士を接続する。

19. ハーネスNo.2を上図のように配線し、結束バンド(2ヶ所)で車両ハーネスに固定する。

イーजीクローザー/パワーバックドア装着車



16. ハーネスNo.2を上図のように配線し、エレクトロタップを閉じ、ビニールテープで車両ハーネスに固定する。

⚠️アドバイス

エレクトロタップに配線の接続はしません。

17. ハーネスNo.2を上図のように配線し、結束バンド(3ヶ所)で車両ハーネスに固定する。

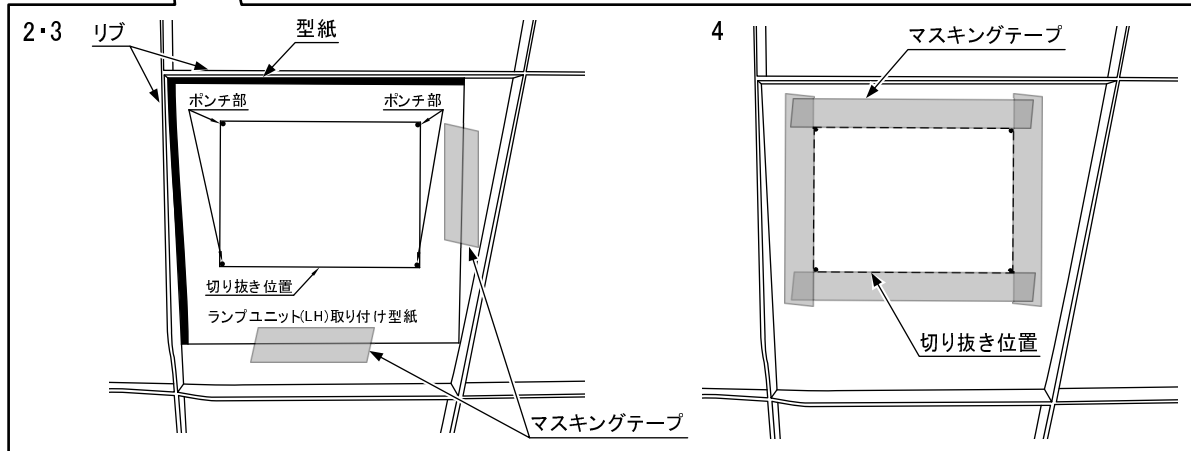
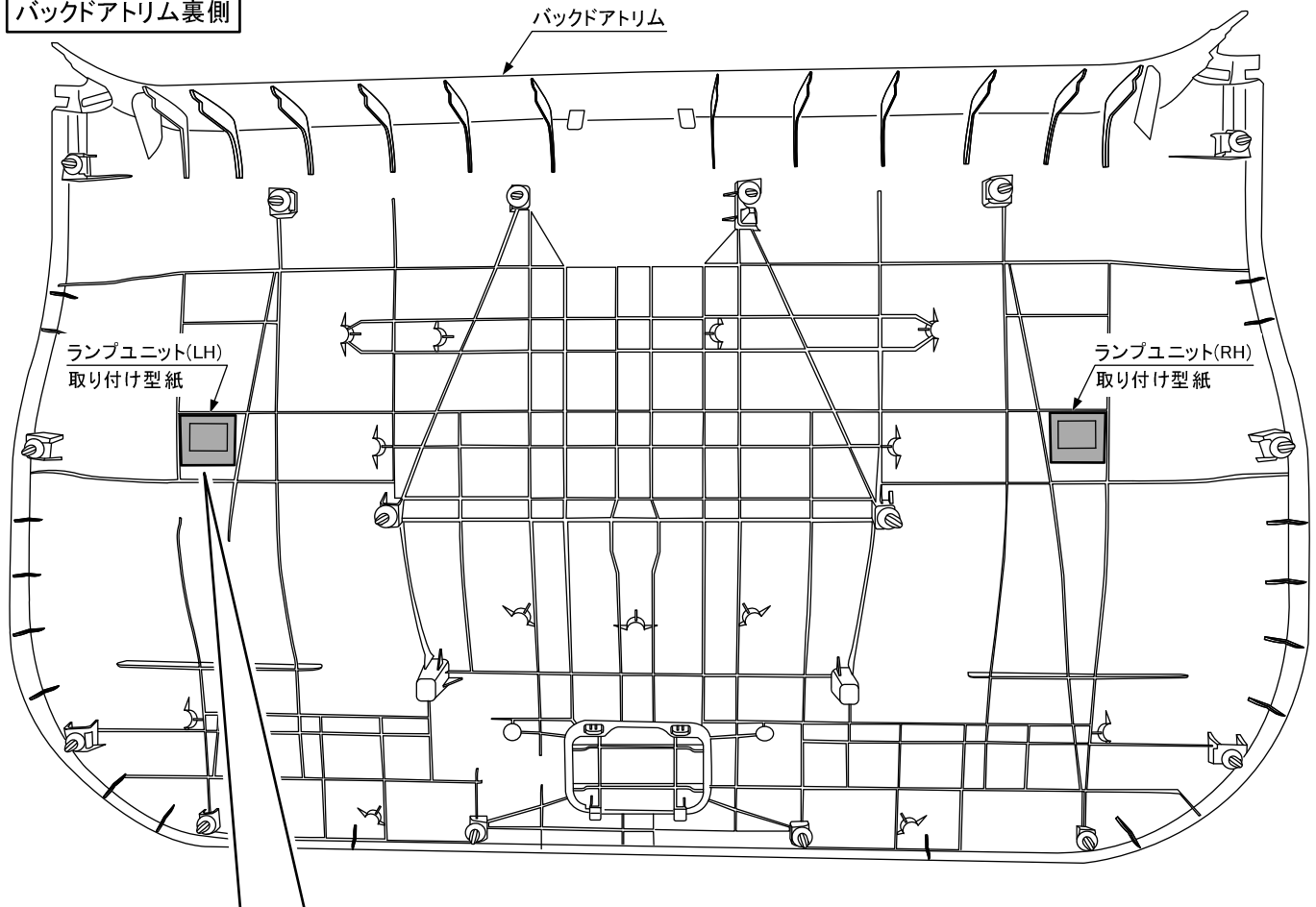
18. バックドアクローザーに接続されている車両8極コネクタを取りはずし、ハーネスNo.2の8極コネクタを割り込み接続する。

⚠️アドバイス

必ず上図の接続位置を確認してから作業を行ってください。

19. ハーネスNo.2を上図のように配線し、プロテクトシート(1ヶ所)でバックドアパネルに固定する。

バックドアトリム裏側



●切り抜き作業

⚠注意

バックドアトリムを加工する際、表面に傷を付けないように注意してください。

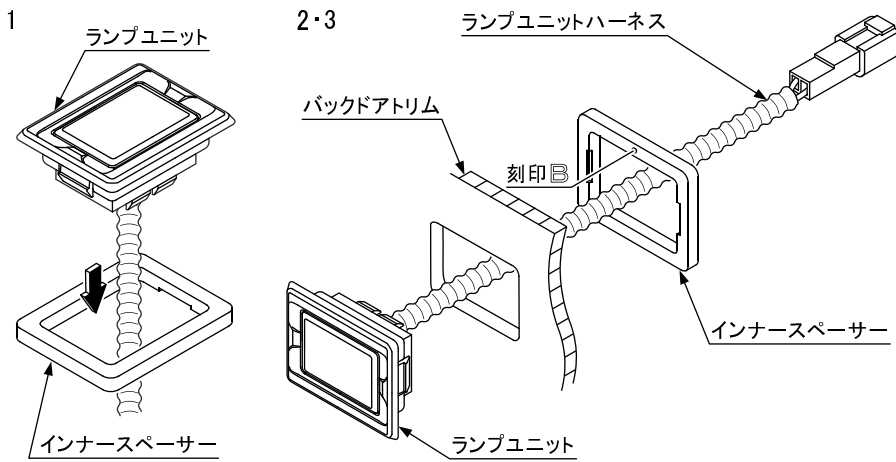
1. 別紙の型紙を切り取る。
2. 型紙をリブに合わせてマスキングテープで固定する。
3. 型紙の切り抜き位置を確認し、ポンチ部(4ヶ所)をポンチする。
4. 型紙を剥がし、上図のようにポンチした四点を基準に切り抜き位置にマスキングテープを貼り付け、マスキングテープの内側を目安に切り抜く。

⚠注意

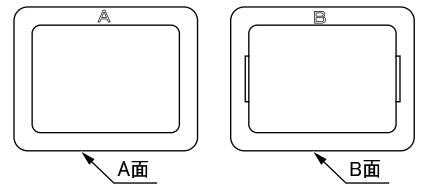
切り抜き後は、取り付け箇所が平面になるようにバリを取り除いてください。

🔊アドバイス

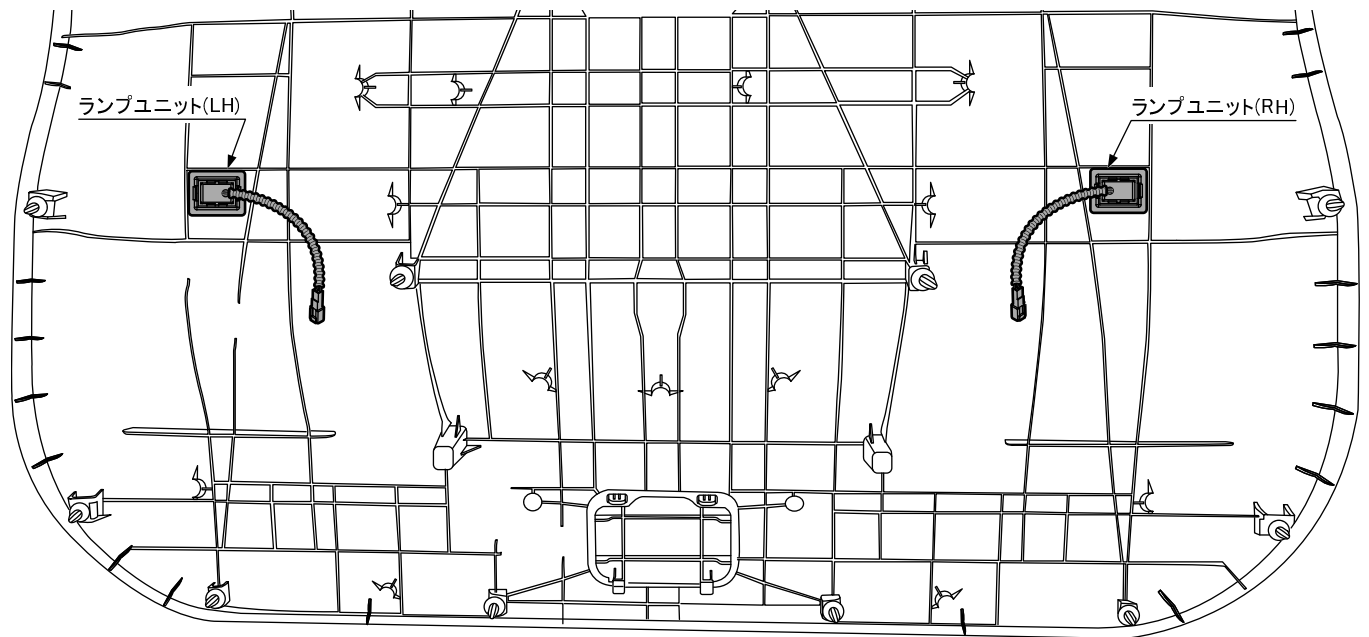
上図はランプユニット(LH)側を示していますが、ランプユニット(RH)側も同様に作業を行ってください。



インナー Spacer はA面とB面があります。刻印を確認し、必ずB面がバックドアトリム側になるように組み付けてください。



バックドアトリム裏側



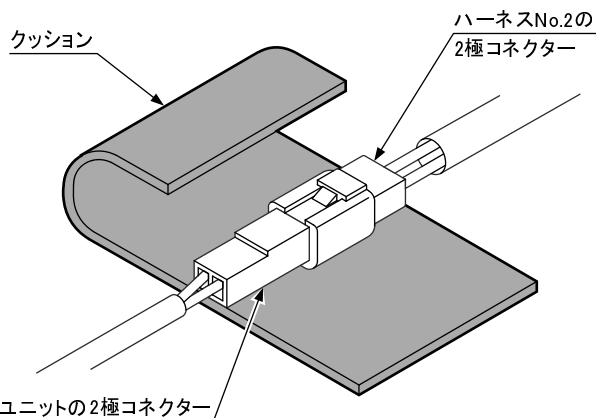
●ランプユニットの取り付け(RH)(LH)

1. ランプユニットからインナー Spacer を取りはずす。
2. バックドアトリム表側からランプユニットを組み付ける。

☞アドバイス

ランプユニットのハーネスが上図側になるように組み付けてください。

3. バックドアトリム裏側からインナー Spacer のB面がバックドアトリム側になるようにランプユニットを固定する。



●ランプユニットの接続(RH)(LH)

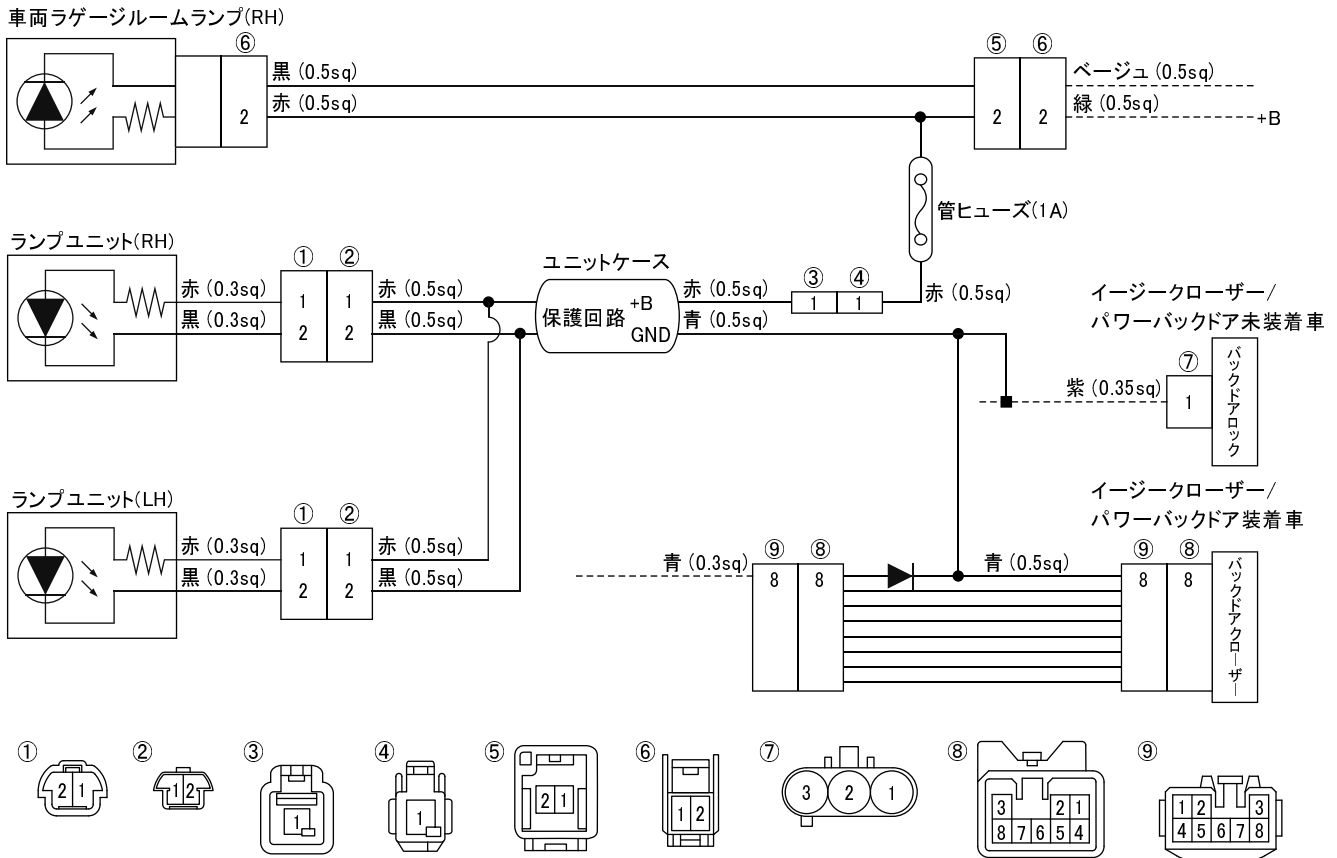
1. ランプユニットの2極コネクターとハーネス No.2の2極コネクターを接続し、クッションを巻く。

☞アドバイス

コネクターが接続しにくい場合は、バックドアを下げて作業を行ってください。

配線図

車両ハーネス ----- 用品ハーネス ——



※ 上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しております。

作動確認

- バックドアを開けると点灯し、バックドアを閉めると消灯する。

復元作業

■ 車両部品の復元

「作動確認」完了後、取りはずした部品を元通りに取り付けてください。ただし、下記の点に注意して作業を行ってください。

- ・ 復元作業に伴うハーネス(車両側及び用品側)のかみ込み。
- ・ 車両部品の損傷。

■ バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

ご使用上の注意

- ラゲージLED本体を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけないでください。
- 防水製品ではありませんので、製品へ水がかかるような使用条件で使用しないでください。
- 常に動作しない場合、高温発熱などの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して販売店へ相談してください。
- 製品の分解、改造は絶対に行わないでください。
- バックドアトリムを取り外す際は、ハーネスの断線や破損などに注意してください。
- バックドアを閉める際は、荷物とラゲージLED本体が干渉しないように注意してください。
- 走行中に荷物が後方にずれるなど、荷物とラゲージLED本体が干渉しないように注意してください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント <https://www.modellista.co.jp>

「お問合せ先」モデリスタコールセンター TEL 050-3161-1000